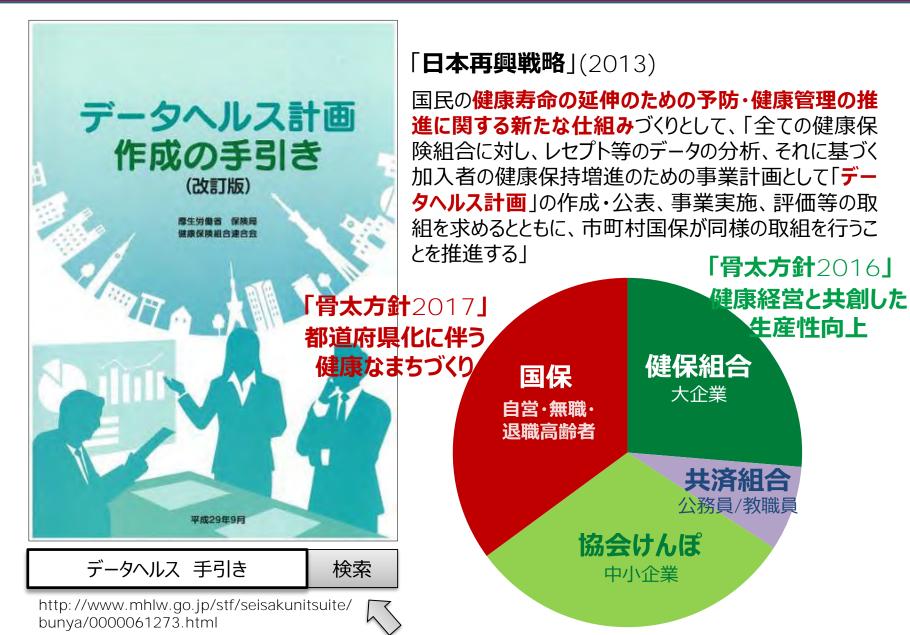
第29回経済・財政一体改革推進委員会「重点課題の見える化の推進等について」 -国民皆保険制度下の「データヘルス」による見える化および横展開-



# 1 「データヘルス」の特長



#### 国民皆保険制度における予防・健康管理の新たな仕組み



## 「データヘルス」

国民の予防・健康増進に寄与し、またその実現を目指す 関係機関をencourageする仕組み。

\*保険者が主体となる事業計画は「データヘルス計画」(2013,日本再興戦略)



#### 「データヘルス計画」の特長を生かす

# データを活用した科学的なアプローチ

(1)「健康課題」の見える化で対象および方法が見える。

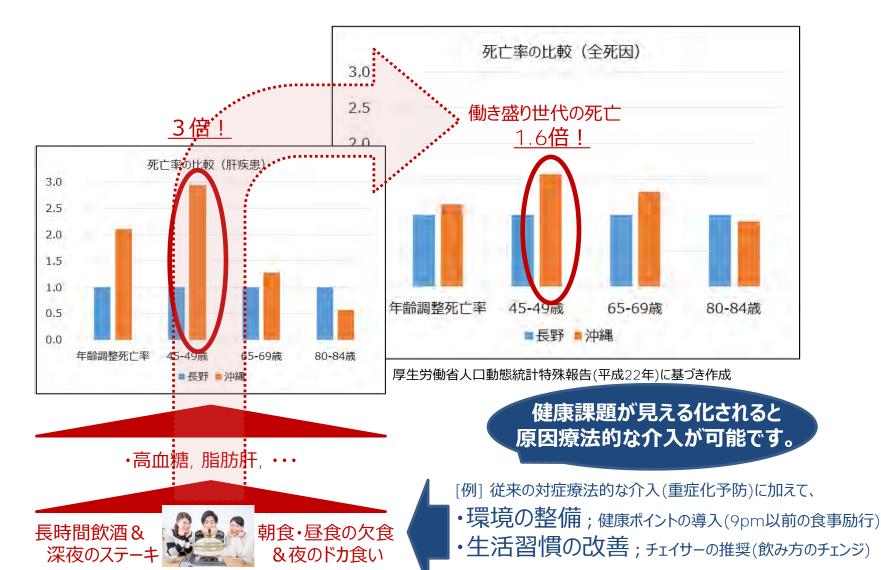
何を目指すか明確、共創しやすい!

(2)「評価指標」の標準化で取組ノウハウが共有される。



PDCAをまわすことで保健事業が進化

#### 「健康課題」の見える化



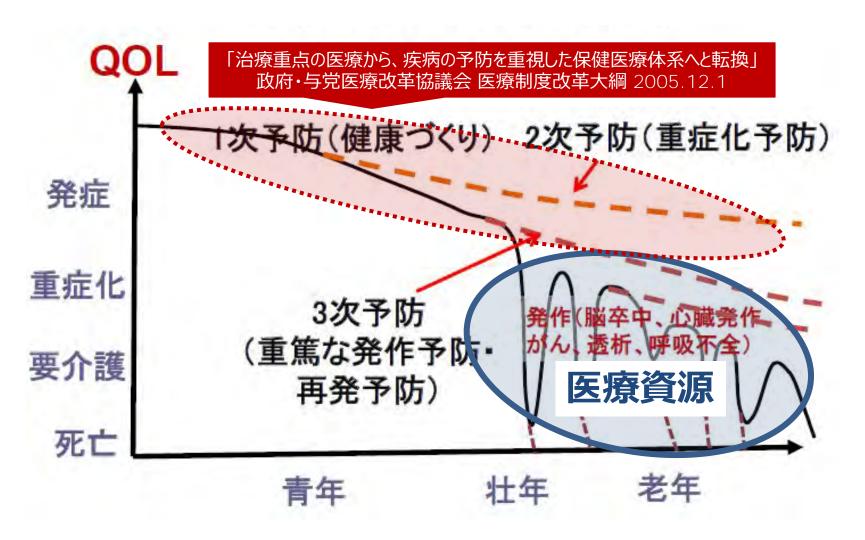
\*多量飲酒の頻度22.2%(全国9.8%)

沖縄県適正飲酒推進調査報告書(平成26・27年度)より

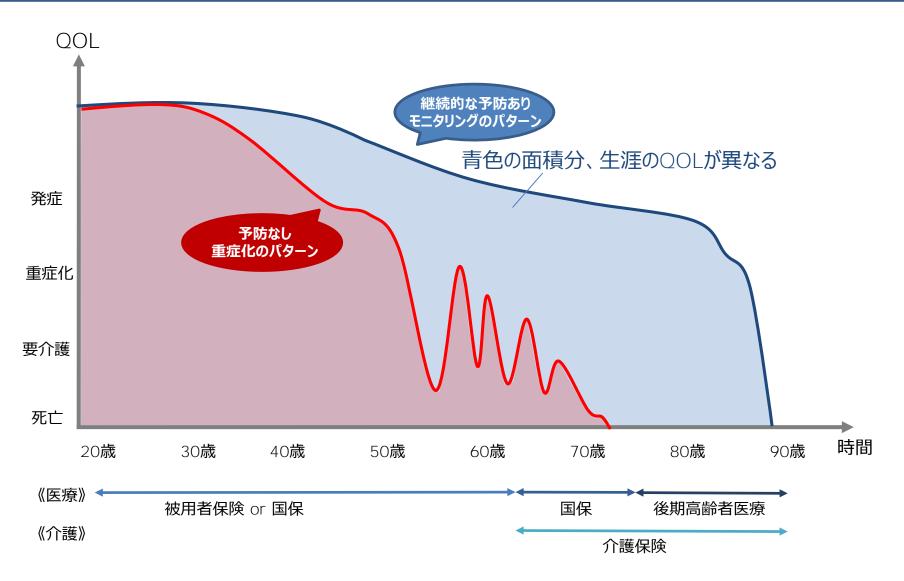
資料) 内閣府経済・財政一体改革推進委員会 2016 一部改変

## 人生100年時代に寄り添う医療の確保と予防の重視

## 生涯を通じた生活の質(OOL)の変化と資源の最適化



## 資源の最適化によるOOLの変異(イメージ)



予防-治療-介護に横串を通すデータヘルス研究により、働き盛り世代から高齢世代への横断的な見える化が可能。

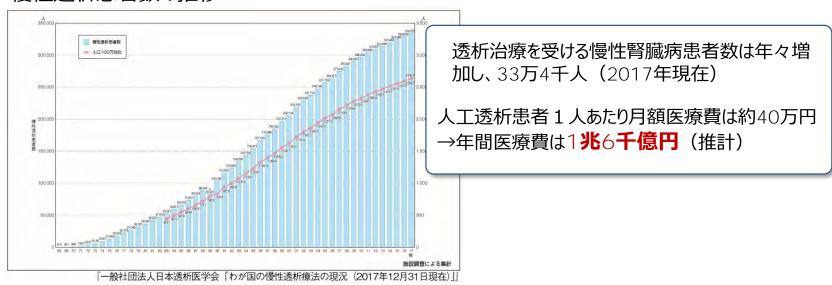
### 重症疾患の医療費

#### 循環器系疾患の医療費(総額・入院)

	医療費総額	うち入院医療費
国民医療費 総計(※)	30 <b>兆</b> 8335 <b>億円</b>	16 <b>兆</b> 2116 <b>億円</b>
循環器系の疾患	6兆782億円	3 <b>兆</b> 6,741 <b>億円</b>
高血圧性疾患(再掲)	1兆7,907億円	2,077 <b>億円</b>
心疾患(高血圧性のものを除く)(再掲)	2兆392億円	1 <b>兆</b> 5,715 <b>億円</b>
虚血性心疾患(再掲)	7,499億円	5,499 <b>億円</b>
脳血管疾患(再掲)	1兆8,085億円	1兆5,320億円

(出典) 平成29年度 国民医療費の概況をもとに作成 ※医科診療分の合計

#### 慢性透析患者数の推移



# 2 「重症化予防事業」の横展開に必要なこと



#### 横展開に必要なこと

#### 先進的な事例を活用する流れ

#### 今後のアクション

■ 効果的な方法・体制の探索 具体的な手順・やり方の工夫

- ✓ 対象者の抽出、アプローチ、実施方法・時期・場所など
- ✓ 人員体制、地域資源との共創など

方法・体制のパターン化

(実装するための暗黙知の抽出含む)

実施

見直し

適用

事業効果の測定

効果の定量的な測定・比較

- ✔ 健康課題の解決度(アウトカム指標)
- ✓ 必要な実施量(アウトプット指標)

評価指標の標準化

評価

組織の特徴・課題

自組織の特徴・課題に合った 事例(体制・方法)を適用

- 組織:人口規模、人員体制、就業構造、健康課題、地域資源等
- 事業の進捗・共創ステージ:特定健診・特定保健指導の実施率、庁 内・医師会との連携等

組織タイプの類型化

### 健康課題の解決度を測る評価指標の"標準化"が横展開のポイント

- ■アウトカム指標;健康課題がどの程度解決されたか否かを測る指標です。
- ■アウトプット指標;課題解決に必要な保健事業が十分に実施されたか否かを測る指標です。
- \*主要な保健事業について、事業目標と評価指標を例示

#### 特定健診事業;被保険者の受診を促し、健診結果に基づき適切な働きかけをすることで、予防・健康増進を図る。

アウトカム指標	アウトプット指標
☞ 特定健診受診者のメタボリック・シンドローム該当率 ☞ 特定健診受診者の生活習慣 ☞ 特定健診受診者の各種プログラム参加率	☞ 特定健診の実施率

#### 特定保健指導事業;特定健診受診者のメタボリック・シンドロームの該当率を減らす。

アウトカム指標	アウトプット指標
☞ 特定健診受診者のメタボリック・シンドローム該当率 ☞ 特定保健指導プログラム終了者のメタボ該当率	☞ 特定保健指導の実施率

#### 重症化予防事業;重症疾患の新規の発症率を減らす。

アウトカム指標	アウトプット指標
<ul><li>⇒ 重症疾患の新規の発症率</li><li>⇒ 保健指導実施者の検査値</li><li>⇒ 受診勧奨実施者の受診(服薬)率</li></ul>	<ul><li>○ 医療機関と連携した継続的な保健指導の実施率</li><li>○ 受診勧奨の実施率</li><li>これらの基本的な指標のほかに、</li></ul>

- これらの基本的な指標のほかに、 - 事業の実行性を上げるための - カテゴリ化した指標の設定も有用です。

### 横展開に必要なこと

#### 評価指標の標準化

効果の定量的な測定・比較

#### 糖尿病関連の「重症化予防事業」におけるアウトカム指標の集計(データヘルス・ポータルサイト)

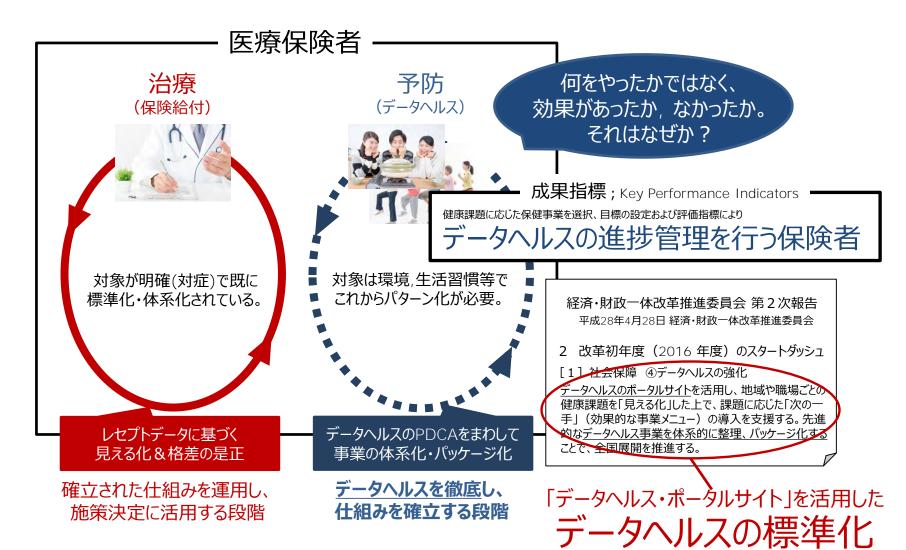
分類		アウトカム指標名(記載事例)	10 4四 20.	指標名 パターン数
医療費·患者数	人工透析者(新規導入)数·割合	人工透析の新規導入者数、人工透析移行者、人工 透析者の伸び率、人工透析者率、・・・	31	26
	医療費・患者数	糖尿病関連医療費、糖尿病性腎症医療費削減率、一人当たり医療費の増加率、・・・	7	7
事業対象者数・割合	リスク保有者(基準領状、下デ数・多ペル)	リスク保有者数、高血圧 II 度の受診勧奨該当者の割 ス計画引における評価指標は進行者、・・	18	18
	事業対象者数・割合	当性の低い指標もありますの減少、被実施者	12	12
対象者の健康状 態改善、行動変容	- 比較がで 医療機関受診者数・割合 - 定量的な	とこれの受診率、受診勧奨による医療受診率、通 な測定が困難療率、・・・	53	33
	対象者の検査結果改善	改善者の割合、HbA1cの改善率、保健指導を受けた 方の翌年度のHbA1c値低下率、・・・	28	23
	対象者の生活習慣・意識改善	生活改善意識の向上、行動変容者割合、生活習慣の改善率、・・・	21	15
その他	その他		33	27

※平成30年度実績報告より以下の糖尿病関連の重症化予防事業抽出条件に合致した233事業、203指標について集計

事業分類:保健事業コードに「4-カ:重症化予防」が含まれている

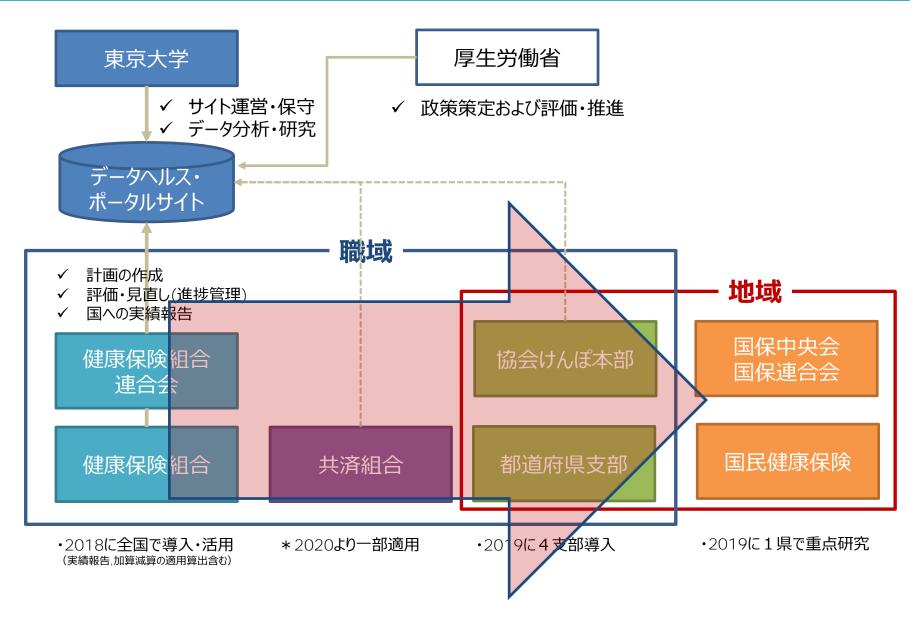
事業名:保健事業名に「糖尿病」が含まれている

### 「データヘルス・ポータルサイト」の保険者への適用



資料) 内閣府経済・財政一体改革推進委員会,2016 一部改変

#### 被用者保険・地域保険における標準化と取組ノウハウの蓄積、横展開を進めるスキーム





#### 市町村の特徴に応じた"処方箋"が必要

組織タイプの類型化

自組織の特徴・課題に合った 事例(体制・方法)を適用

#### 市町村の課題



#### 好事例集

中規模

#### 人口規模で課題の所在が異なる

#### 記載内容は必ずしもマッチしていない

### 小規模 大規模 中規模 庁内職員の分業化 庁内の →国保と衛生の 連携 庁内連携に課題 1 医師会に複数 の市町村が所在 医師会と →医師会との の連携 連携に課題

#### 庁内の 連携

門のミーティン グを開催し、情 報共有(T市) ・部課を越えて 勉強会に参加

小規模

• 保健、国保部

し、問題意識の 共有(K市)

事例:少

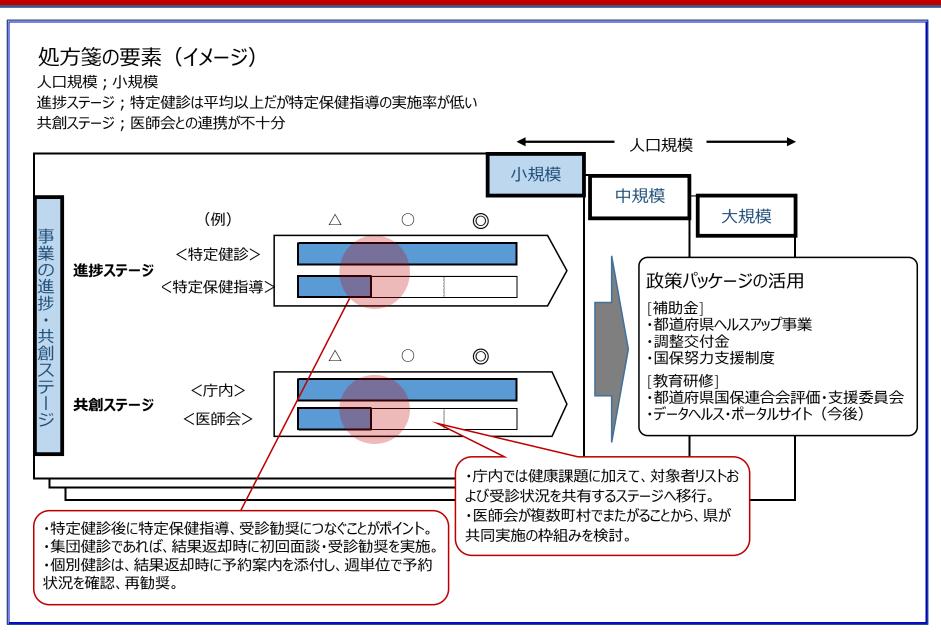
#### 医師会と の連携

- 事例:少
- 重症化予防の 地域連携協定 を締結(N市) • 市立病院、医
- 師会、薬剤師 会、行政の連 携で、市民の 腎臓を守るシス テム構築(F市)
- CKD病診連携 プロジェクト会 議の開催。病 診連携システム 構築 (K市)

大規模

• 糖尿病対策圏 域合同連絡会 議の開催(県 医師会、郡市 区医師会、専 門団体、県によ り構成) (S県)

### 横展開のための"処方箋"の考え方(重症化予防事業)



# 3 見える化および横展開への示唆



### 事業の実行性を上げる運営基盤(共創体制)の構築が重要

#### 医師会との共創で実行性を高めたB県の事例

- ■高額レセプト(入院患者) 過去5年間での<u>特定健診受診者10%</u>(特定保健指導利用者 **4**%)
  - □ 地域の医療機関との共創のもと、重症化予防事業を開始した。
    - ・重症化リスク者のリスト化
    - ・服薬・生活習慣の状況、診療状況の共有

[Ⅲ度高血圧の未治療者]

平成21年度 632人 (81%) →平成25年度 237人 (39%) に減少

[高血糖(空腹時血糖200mg/dl以上)の未治療者]

平成21年度 521人 (53%) →平成25年度 317人 (38%) に減少

東京大学Q-station https://q-station.jp/

## 横展開に向けた枠組みの活用イメージ

